

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

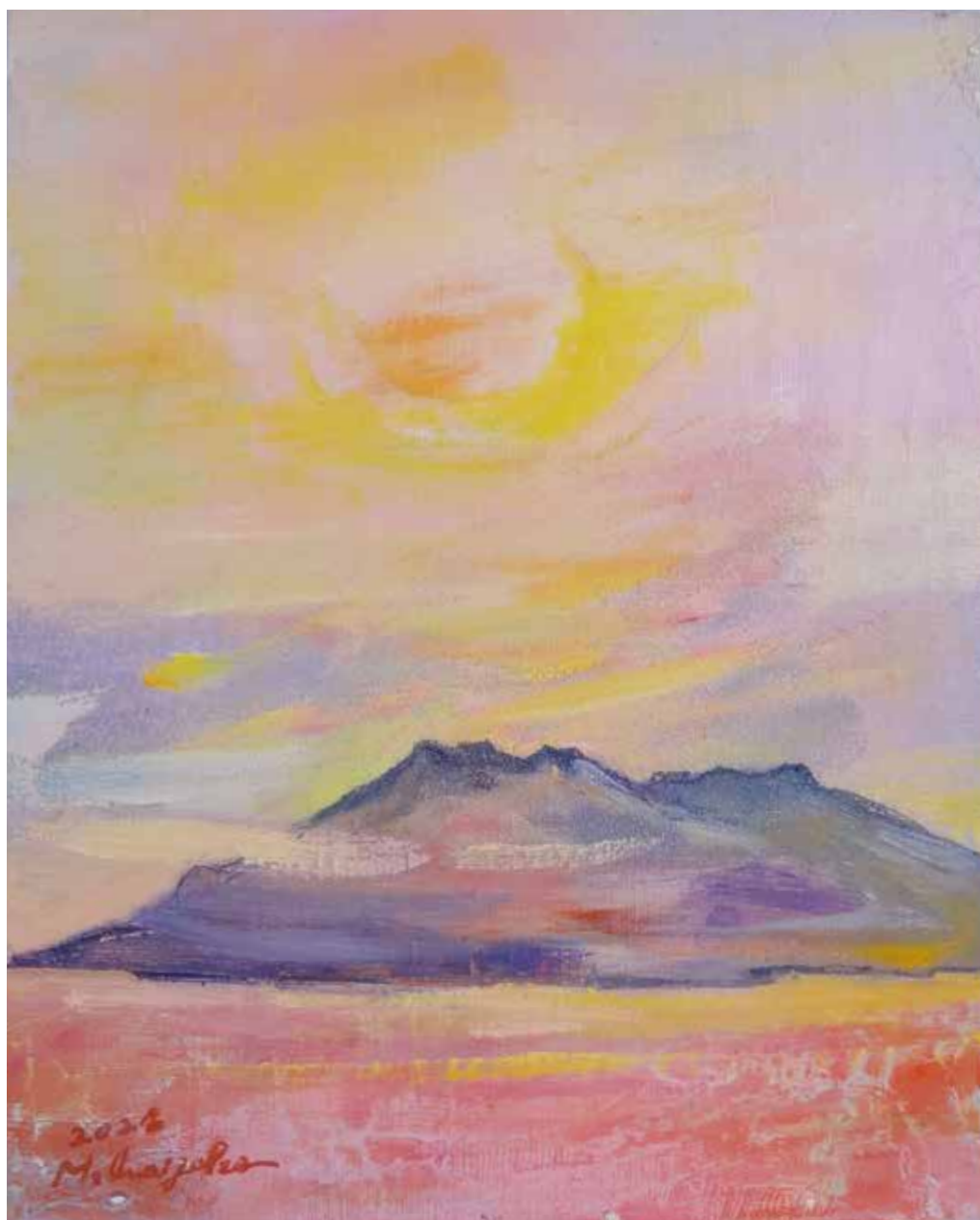
ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**110**

令和5年(2023)
1月1日発行



「年の始まり、朝」 祝迫正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む	1
今村 英仁	
第33回全国介護老人保健施設大会兵庫 ...	2～5
第9回県民公開講座	6
鹿児島県からのお知らせ	7
協会だより	8
老健に入るためのご案内	9
研く 究める	10～13
令和4年度 研修会	14～15
ぶらぶらが素敵 かごしま⑩	16～17
こほれおちたもののもの③④	18
三角 みづ紀	
ふるさとフォーカス	19
ろうけん広場	20
かごしまの食卓 冬編	21
介護用品あれこれ	22～23
あなたの地域の介護老人保健施設	24～28
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曾於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「年の始まり、朝」	29
祝迫 正豊	
編集後記	29

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



社会保障政策の在り方を考える

鹿児島県老人保健施設協会 代表理事

今村 英仁



新型コロナウイルス禍が始まってから3年が過ぎ、4年目を迎えようとしています。この3年間、次年度こそは正常化への道に進むだろうと期待するも、残念ながら裏切られてきました。確かに災禍の初期に比べるとウイルスの弱毒化が進んでいるように見えますが、どこで平時の体制に戻すかの判断が難しいのが現実です。

一方で、少しずつ平時の状況に戻していく取り組みが始まった分野も出てきています。日本は、新型コロナウイルスの水際対策を強化することで3年間ほぼ鎖国政策をとってきたわけですが、この鎖国状態を解除して外国との往来は少しずつ正常化への道に進んでいます。

私は昨年8月以降、3回海外

渡航する機会がありました。米国に2回と欧州に1回です。既に、米国も欧州も日常生活ではコロナ対策がほぼ解除されています。ドイツの電車に乗るときにマスク着用が義務付けられているのが唯一経験したコロナ対策です。特に、米国では一部マスクをしている人がいますが、ほとんどの人はマスクなしで、日常生活は完全に平時の状態に戻っているようです。滞在中ニュースでCOVID-19について報道されることも1度もありませんでした。ウイルスの弱毒化に加え、ワクチンと治療薬があり、既に集団免疫状態を獲得したと考えられる米国では平時に戻っているわけです。

この状況を見てすぐに日本でもコロナ対策を中止すべきと考

えるかと問われると肯定するのは困難です。一番の理由は、欧米人と日本人のメンタリティーやイデオロギーの違いからです。もちろん、欧米においても新型コロナウイルス禍で亡くなる方はいます。特に免疫力の劣る基礎疾患を抱える方や高齢者にとっては今でも新型コロナウイルスは脅威です。それでも平時の体制に転換出来るのは何故でしょうか。

欧米では、国民の大半が平時の状態に戻っても問題が生じないと考えれば有事の政策を平時の政策に転換します。その際に免疫力の劣る国民に多少の犠牲者が増えてもそれは仕方がないことだと考える国民性を有しているからです。一方、日本人は免疫力の弱い方を含めて一人でも新型コロナウイルスでの犠牲者を出してはいけなさと考える国民性です。そうすると有事の政策から平時の政策に転換した際に犠牲者が増える可能性が少しでもあれば政策の転換が出来ません。この国民性の違いはどちらが正しいか間違いかの問題ではないのです。どちらもその国にとっては正しい考え方なのです。

この国民性の違いは特に社

会保障政策に大きな影響を及ぼします。新型コロナウイルス禍にあっても2024年度のトリプル改定を含む様々な社会保障政策が更新されます。目下の最大の懸念は政府の限られた予算の中で、もはや今までのような社会保障サービスを提供することが限界を迎えつつあるということです。バブル崩壊後、日本のGDPはほとんど増えず、今回の円安により先進国に留まるのも困難な状況を迎えつつあります。

世界に冠たる社会保障制度を誇る日本でしたが、一方的に社会保障制度の充実のみを求めることが困難となりました。日本自身がどのような国を目指すのか、そしてその中で持続可能な社会保障制度にするにはどうすれば良いのか、国民一人一人が真剣に考え答えを出さなければなりません。

今年はいよいよこの問題を避けては通ることが出来ません。老健の未来を見据えてしっかりと考えていきます。

Roken Report



神戸市で3年ぶりに開かれた全国介護老人保健施設大会。開会式に続き功労者表彰などがありました。Web 配信もされ全国の方も視聴されました。

第33回全国介護老人保健施設大会兵庫

新たな時代をいきぬくために ～今、老健ができること～

**3年ぶりの開催に喜び
初のオンライン配信
アクセス3200人
鹿児島県の3施設が発表**

第33回全国介護老人保健施設大会兵庫は昨年9月22、23の両日、神戸市の神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場で開かれました。大会テーマは「新たな時代をいきぬくために～今、老健ができること」。3年ぶりの大会に全国から約2500人が参加、コロナ対策として導入したWeb（ウエブ）視聴サイトへのアクセスは3200人余りに上りました。

開会式で大会会長の森村安史老健協兵庫支部長がコロナ対策のため、初めてWEB導入にしたことに触れ、「大会を成功させて、次回以降のアフターコロナの世界での大会のあり方を一緒に考えていければ」とあいさつしました。

主催者を代表して全国老健協の東憲太郎会長（南さつま市加世田出身）が「新型コロナウイルスの歴史上でも類を見ないほどの地球的規模の感染症を経験して

きた。全国の医療機関や高齢者施設で多数のクラスター、パンデミックが頻発し、第7波の感染、そしてようやく収束が見えてきたかなというところで、待ち望んでいた大会を開催することができた」と述べました。

さらに「この大会は、全国の老健施設で働く職員が一堂に会して、日頃の苦労や意見交換を活発に行い、親睦を深め、また知識を深めて元氣になり帰っていただく場。全国の仲間たちと親睦を深めていただきたい」と呼びかけました。

表彰式があり、令和4年度全老健協会表彰（施設表彰）で、グラン・ベリテひわき（薩摩川内市樋脇町）が受賞しました。

全国の施設が発表する演題は「在宅支援」「業務改善と効率化」「全般的なケア」「人材」「リハビリテーション・コミュニケーション」「リスクマネジメント」「認知症」「医師と医療」「栄養・給食」「介護ロボット・AI」「ケア環境／管理・運営」「食事ケア」「災害対策」と多様なテーマに及び、発表者は老健施設が抱える課題や現場から得た研究内容を紹介。会場では活発な質問応答が交わされました。

鹿児島からは3施設が登壇。「人材」をテーマにした会場では、愛と結の街（鹿児島市）の副施設長兼看護・介護部長、原口悦江さんが座長を務めました。

鹿児島関係の演目と発表者は次の通り。

▽「持続可能な開発目標（SDGs）」について考える「老健施設として取り組めること」（在宅支援2）

シルバーセンター光の里（伊集院町）介護福祉士・川上太資さん

【要旨】 持続可能な開発目標（SDGs）に対する職員の認識と取り組みについてアンケート調査を行い、老健施設として取り組んでいる事案に着目した。一例として「質の高い教育を」という目標に関して、資格取得に向け、介護福祉士やケアマネジャーの勉強会を無償実施するサポートを紹介。このほか「すべての人に健康と福祉を」「ジェンダー平等を実現しよう」などで、目標を達成した事例やこれから取り組むべき課題について検討した。

「SDGsについて、普段の業務において意識することが少

なかったものの、改めて考えることによって、少しでも携われていることを実感した。思った以上に取り組んでいた。より

違った視点で物事を見る、考えることの大切さに気づかされた。これからもSDGsに目を向け、新たな目標を達成できる



シルバーセンター光の里の川上太資さんは、老健施設として取り組んでいる SDGs について報告しました。

ように、老健施設として取り組んでいける方法を試行錯誤していききたい」

▽「調理師としてできること
法人グループ内の課題からみえてきたこと」（業務改善と効率化4）



現場の取り組みについてスクリーンを使って説明する愛と結の街の隈崎耕輔さん

愛と結の街（鹿児島市） 調理師・隈崎耕輔さん

【要旨】 法人グループ全体の管理栄養士の会合は月1回開催され、各病院・施設の情報共有はされている。しかし、調理師の会合はなく、年1回の合同研修会では、交流が図れていない。グループ全体の調理師同士のつながりを持つことで、顔の見える関係性を構築し、互いの現状や課題の共有により解決できることはないかと考え、調理師の会合を開催。この2019年4月から始動した取り組みについてまとめた。

「グループ全体の共通点として、人手不足の恒常化やメニューのマンネリ化、日々の業務にやりがいを感じられず、モチベーションの低下につながっていることが考えられた。これらのことを少しでも解決するために、何を改善し、どのように課題と向き合っていくべきか、今後検討が必要である。そのためにも、自分たちだけではなく各病院、施設との連携を継続し、それぞれが課題を抱えながらも、日々のおいしい食事作りを正確に行っていくべきであると考えられる」

▽「認知症ケアの敷居を下げ
る！ 接遇・身体拘束の視点から」（認知症4）

サンセリテのがた（大崎町）
作業療法士・山口翔平さん

【要旨】 接遇や身体拘束廃止に配慮ができていない職員は、認知症ケアの充実度が高い可能性があるかという仮説を立て検証した。職員アンケートを行い、多角的に比較検討した結果は、接遇や身体拘束廃止に向けた対応・取り組みができていない職員が、必ずしも認知症ケアの実践が十分にできているとはいえなかった。これに対し、認知症ケアの実践ができていない職員は、接遇や身体的拘束廃止に向けた対応・取り組みができていない可能性があるとした。

『認知症ケア』と『接遇や身体拘束』においては、利用者の人権や尊厳、思いやりという意識で共通する部分があるが、本研究で接遇や身体拘束廃止に向けた対応取り組みができていない職員が、必ずしも認知症ケアの実践が十分にできていると言えないことがわかった。一方、日頃から認知症ケアを実践している職員は、接遇や身体拘束について、ケアの立場から積極的に取り組んでいることが分かった

た。認知症ケアの実践ができて
いる職員を増加させることで、
接遇や身体拘束廃止に向けた対
応、取り組みの向上が期待でき
るのではないかと考えた」

このほか行われた主なイベン
トは次の通りです。

《特別講演》

「地域包括ケアにおいて介護
老人保健施設に期待する役割」

大西証史氏（厚生労働省老健
局長）

《教育講演Ⅰ》

「新型コロナウイルスの現状と、これ
から話題となる感染症」 勝田

吉彰氏（関西福祉大学教授）

《教育講演Ⅱ》

「新たな時代をいきぬくために
「地域包括ケアの中核施設とし
ての老健」」 松田 晋哉氏（産
業医科大医学部公衆衛生学教
授）

《教育講演Ⅲ》

「高齢者を災害に強くする災
害文化」 河田 恵昭氏（京都
大学名誉教授）

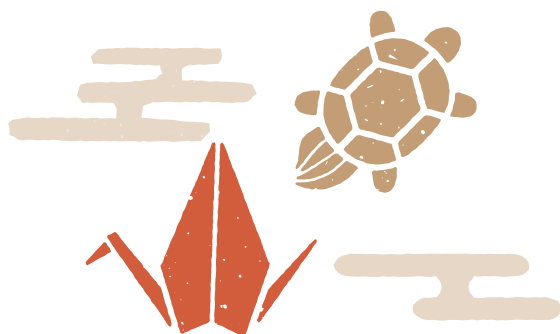
《一般講演》

「遊びリテーションが自立支
援（生活づくり）を促進する！」

上野 文規氏（介護総合研究
所「元気の素」代表）

《パネルディスカッション》

「全老健が考える未来の
“LIFE”とサービスの質の
評価、次なる展開へ」
《シンポジウムと研究事業報
告》「防げない転倒、防げる転
倒 施設の対応はどうする？」



サンセリテのがたの山口翔平さんの発表でも多くの人が熱心に耳を傾けていました。



第9回県民公開講座

「子どもたちの生きる力を引き出す自然体験活動 ～キャンプ体験から学ぶ災害対応力～」

鹿児島大学総合教育機構共通教育センター 福満 博隆

准教授



県キャンプ協会長の福満博隆さんが講演しました。

福満さんは大学教員として、学生に子どもキャンプの企画などを指導。また県キャンプ協会長として安全で楽しいキャンプの普及に努めています。

講演では、生活環境の変化に伴って、子どもたちの遊びが変容していることに触れ、今の子どもに足りないもの（問題点）として、「直接体験、生の体験がどんどん減少し、感じる力、豊かな感性が喪失している」と指摘。体験活動を通して生きる力を引き出す大切さを強調しました。

何を学んだか、発見したか
体験から経験へ発展させる

鹿児島県老人保健施設協会の第9回県民公開講座が昨年11月、鹿児島市のセンテラスホールで開催されました。コロナ禍のため令和2年1月以来およそ3年ぶりの開催となりました。テーマは「子どもたちの生きる力を引き出す自然体験活動～キャンプ体験から学ぶ災害対応力」。鹿児島大学総合教育機構共通教育センター准教授で、

た。つまり、学習によって行動力（生きる力）を身につけ、体験の積み重ねが、心を育てるとの考えを示しました。

福満さんは、自分を取り巻く生活環境の仕組みや問題点に気づくことの大切さを強調し、「環境教育という言葉をよく聞きます。教科書の中だけで、環境教育をやっても、何も進まない」と助言しました。また、集団活動の中で、仲間との成功体験や喜びの共感、達成感を味わうことを通して「相互理解や相互信頼が生まれ、コミュニケーション能力が向上し、成功体験の積み重ねによって自己肯定感が充足される」「失敗することを恐れず、そこに学びがあるということに気付くいいチャンスでもある」とアドバイスしました。

「災害対応力」とは困難な状況にもかかわらず、しなやかに適応して生き延びる力だと指摘。日常生活と比較すると、野外での生活は不便なところがあり、自然体験活

動の中で、できるだけ快適な（楽しい）活動ができるように工夫することで、困難を乗り越えることができる」と話しました。防災教育と自然体験活動は「不便」から知恵と創造する文化を学ぶという姿勢で共通。避難生活の疑似体験で「災害対応能力」が学べるとの考えを示しました。

「若者たちに大人の考えを強いるのは間違っている。しかし『経験』を強要することは、大人の義務である」。クルト・ハーン（ドイツ人で、第1次世界大戦後にイギリスでパブリックスクールを創立し、第2次世界大戦後に野外体験学校を創設した有名な教育学者）の言葉を紹介。「経験を強要するという変な言い方だが、やはり子どもたちに考える場所をつくってあげることが重要だ」と指摘しました。



ふくみつ・たかひろ氏

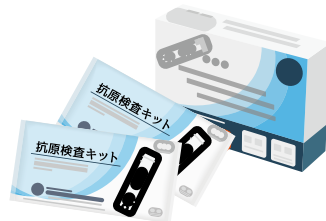
鹿児島大学教育学部卒、東京学芸大学大学院修士。鹿児島大学教養部に着任。教養部廃止後教育学部に移籍。現在は鹿児島総合教育機構共通教育センター准教授、鹿児島県キャンプ協会長。

鹿児島県からのお知らせ

1. 集中的検査の実施について

県では、第8波に備え、高齢者施設や障害者施設、保育所等における感染防止対策として、抗原定性検査キットによる集中的検査（従事者様等における週2回程度の抗原定性検査キットによる自主検査）を実施することとしています。

抗原定性検査キットについては、以下のように有効に御活用いただくことも可能ですので、是非、集中的検査を実施くださるようお願いします。



（活用例）

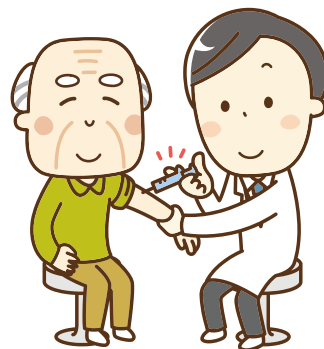
- ・濃厚接触者の待機期間短縮のための検査（2日目、3日目の検査）として使用
- ・従事者の同居家族に陽性者が出た場合、同居家族の自己検査用として使用
- ・施設等内で陽性者が出た場合、緊急的な検査として使用

2. オミクロン株対応ワクチンの接種について

現在、1、2回目接種を完了した方 12 歳以上の方を対象にオミクロン株対応ワクチンの接種が進められています。

オミクロン株対応ワクチンは、オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果が期待されています。また、変異株に対しても有効であるとされています。

接種を希望される方は早めの接種をお願いします。



上記の問合せ先：鹿児島県 新型コロナウイルス感染症感染防止対策課
ワクチン・検査係 [TEL：099-286-3301]

パルスオキシメーターのない施設がありましたならば、貸出用が数台ございますので、当協会までご連絡ください。なお、貸出枠には限りがございますので、貸出しできない場合はご了承ください。

協会だより

令和4年10月～

●令和4年度第2回看護・介護部会

開催日：令和4年10月21日(金)14:30～16:00

場 所：医師会館3階中ホール及びZoomによる
ハイブリッド方式

テーマ：「魅力学～人に好かれる「人」になる介護施設・高齢者へ向けて～」

講 師：宮之原 明子 先生(株式会社 清友 代表取締役)

●令和4年度臨時九州ブロック支部長会

開催日：令和4年11月9日(水)16:00～16:30

開催方法：Zoomによるオンライン会議

●第9回県民公開講座

開催日：令和4年11月26日(土)14:00～16:00

場 所：センテラスホール6階

テーマ：「子どもたちの生きる力を引き出す自然体験活動
～キャンプ体験から 学ぶ災害対応能力～」

講 師：福満 博隆 先生(鹿児島大学総合科学地域総合教育学系 准教授)

●令和4年度第2回九州ブロック代表者会

開催日：令和4年12月14日(水)17:30～

場 所：ホテルニューオータニ佐賀

●第21回九州ブロック介護老人保健施設大会 in 佐賀

開催日：令和4年12月15日(木)～16日(金)

場 所：佐賀市文化会館

テーマ：「がばいよか老健～令和時代の老健の在り方とは～」

●令和4年度第2回PT・OT・ST部会研修会

開催日：令和5年1月18日(水)

場 所：医師会館3階中ホール

テーマ：「介護予防や地域リハ(仮題)」

講 師：安本 勝博 先生(津山市役所・作業療法士)

●第27回鹿児島老人保健施設県大会

テーマ：「新しいカタチ 老健 style ～笑顔ある未来へ～」

開催日：令和5年2月14日(火)～15日(水)

開催方法：ハイブリッド方式

(Zoom及びYouTube配信)

場 所：県医師会館3階及び4階

特別講演：バーバラ 植村 先生

(1)特別講演日時：令和5年2月14日(火)15:00～17:00(予定)

(2)テーマ：未定

(3)講演場所：県医師会館4階大ホール

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

老健に入るためのご案内

1つの事例

入院中の父を入所させたい

【質問】 70歳の父が脳梗塞で入院中です。病院での治療を終え、要介護2の認定を受けました。歩行が不安定なので、いったん老人保健施設に入所し、リハビリを受けたいと考えています。老人保健施設へ入所するにはどのようなすればいいのでしょうか。

【お答え】 介護老人保健施設（以下老健）は、病状が安定して、病院での治療よりも、看護や介護に重点をおいたお世話が必要とされる高齢者を対象とした施設で、高齢者の心身の自立を支援し、親しみやすい環境の中で、家庭生活への復帰を応援します。入所の利用対象者は要介護1～5の認定を受けられた方です。

以上のことから、このケースは老

健の入所対象になると考えられます。施設入所までの流れは次をご参照下さい。

まず施設を探す

現在、鹿児島県内には76の老健があり、各地に点在しています。これらの老健については、役場の介護保険窓口で紹介してもらうことができます。他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や本誌巻末でも連絡先を知ることができますので、近くどんな老健があるのか探してみして下さい。

気軽に相談を

施設が見つかったら相談してみましょう。老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時には支援相談員を尋ねてみて下さい。相談の形は電話でも直接足を運んで

もかまいません。

施設からは利用者ご本人とご家族について、また要介護度や連絡先などを確認させていただき、それに併せて施設の説明を行いますので、料金や待機状況など不明な点は何でも気軽に聞いて下さい。要介護認定を受けていない場合でも、申請の仕方などケースに応じた説明を行いますのでご心配いりません。

入所待機の申し込み

相談の後、利用者側が入所を希望され、施設側も受け入れ可能と判断しましたら、入所待機の申し込みを行い、一旦待機に入ってください。申し込み方法や待機状況は様々で、施設によっては電話での入所申し込みが可能なのもあります。ですが、老健についてより知っていたくためにも、時間をみつけて1度施設を見学される事をおすすめします。

待機中は

入所日が決定するまでの間に、利用者の状態の変化や、他施設への入所決定等があり、待機の必要がなくなれた場合には、待機中の施設へ連絡をいただくと助かります。

入所までの大まかな流れは、上記のようになります。また、ホームページも参考にして下さい。

老健への入所の大まかな流れ

利用者・家族

施設探し

※老健の連絡先については、市町村役場介護保険窓口で紹介してもらうことができる他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や、本誌巻末でも連絡先を知ることができます。

電話相談

※老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時は支援相談員を尋ねてみて下さい。

施設見学

施設の説明に併せて
・利用者の状態
・要介護度（未申請の場合はお知らせください）
・連絡先 などお尋ねします。

※施設見学の際は事前に各施設へ電話にてご連絡ください。

利用者側の入所希望+施設側の受け入れ可能判断

入所（待機）申し込み

※申し込み方法・待機状況は施設毎に異なります。施設によっては電話で入所申し込みが可能な施設もありますので、気軽にお尋ねください。しかし、老健についてより知っていただくためにも、一度施設を見学されることをおすすめします。

入所



研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

老健のレクにスパイスを

介護老人保健施設 きりしま（霧島市）

〈発表者〉 介護福祉士 小出水 海人
老健きりしま2階 看護・介護スタッフ

【はじめに】

当施設では、日々の活動量の増加を目的に、1日に2回のレクリエーションを行っている。普段のレクリエーションでは、ラジオ体操、リハビリ体操、ホワイトボードを使用したしりとりなどの頭を使ったレクリエーション、輪投げや風船バレーなどの体を使ったレクリエーションなどを実施しているが、1日2回のレクリエーションを行っている、似た内容のものになりがちでマンネリ化し、レクリエーションを行う上での目的が十分に達成できていないのではないかと日々感じていた。レクリエーションの質が下がると入所者様の生活の質や在宅復帰率の低下に繋がりがかねない。それを防ぐためにインターネットでレクリエーションを探していると、ゲーム機器を活用したレクを見つけ、当施設でもWiiをレクで使用し入所

者様の様子や反応を観察したことを報告する。

【レクに使用したゲームソフト】

まずは「Wii Sports Resort」より、様々な種目はあるが次の3つは比較的操作が単純で、さらに結果が分かりやすく見ている方も楽しめると思い「卓球」「チャンバラ」「ボウリング」を選んだ。2つ目は「Wiiリモコンプラスバラエティ」より「モグラたたき」「アイススクリーム作り」「ソフトクリーム作り」を選んだ。モグラたたきには認知されている方が多く、残りの2つはゆっくり操作することができるとある。

【各ゲームの特徴と実施後の入所者様の反応】

・卓球：1対1の対戦形式でリモコンを左右に振って操作する。6点先取で勝利となる。

・チャンバラ：1人ずつ行う。リモコンのボタンを1つ押し続けながら下から上に振り上げる。振り上げる向きや角度によってボールが曲がる。

・モグラたたき：1人ずつ行い、リモコンを縦に振り、画面上に出てくるモグラを叩く。叩いたモグラの数がスコアとなる。

・アイススクリーム：1人ずつ行い、リモコンを左右前後に傾け、コロンに積まれるアイスが倒れないようにするゲーム。倒れたらゲーム終了で積まれたアイスの数がスコアとなる。

・ソフトクリーム：1人ずつ行い、リモコンを縦に持ちゆっくり回す。ゲーム終了後にソフトクリームの出来栄で点数付けをされる。

入所者様の反応としては、卓球・チャンバラ・モグラたたきは操作は単純だが、リモコンを激し



く振らなければならぬため、見る方が限られてしまい、「見ていだけでいい」という方が多かった。アイススクリームはリモコンを傾ける角度が難しく、自分からしたいと言われる方は少なかった。ボウリング、ソフトクリームは比較的操作がゆっく



りで結果が分かりやすく、「またしたい」という声が多く聞かれた。

【Wiiを使用したレクリエーションにより得られた効果と課題点】

得られた効果として、
・ 普段レクに参加されない入所者様が、Wiiを使用したレクに興味を持っていただき参加されるようになった。
・ 「まだしたい」などの意欲的な意

見が多く聞かれた。
・ 最初は消極的だった方も、丁寧な説明や回数を重ねるにつれ積極的に参加されるようになったことが挙げられる。
・ 課題点としては、
・ 集団レクリエーションにより1人あたりにプレイできる回数に限られるため、意欲的な方への個別レクリエーションが必要。
・ 意欲はあっても難しいからできないという方もいたため、分か

りやすいゲームの選択やさらに分かりやすい説明が必要ということが挙げられる。

【考察】

これらのことから、Wiiなどのゲーム機器やYouTubeをはじめとする動画配信サービス等の電子機器・新しい物を取り入れていくことにより、他者との交流を生み、気分転換や日々の生活に楽しさを見出し、心身のリフレッシュになっていったのではないかと思います。また、認知症予防・進行抑制、脳機能の活性化や、残存機能の向上・維持することで入所者様の生活の質の向上はもちろん、在宅復帰率の向上にもつながってくるのではないかと考える。

普段あまり触れることのないゲーム機器でのレクリエーションをすることで、入所者様にとって良い刺激になり職員にとっても新しいレクのあり方として考える良い機会になった。レクの時間になると皆さま集まれ「今日はなにをするの？」と声をかけていただく事が多くなり、レクへの参加もアップしている。最近では、ゲームだけでなく昔の映画やドラマを観たいという声も多く、レクの時

間を使い映画鑑賞会や昔の映像を観たりして大変喜ばれている。これからも入所者様のニーズに幅広く応える1つの手段としてレクリエーション以外の場でも上手く活用していき、よりよい生活の質向上につなげていきたい。



研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

みんなでやろう!!

「できない事」を、「やってみよう」に変える

介護老人保健施設 回生苑（阿久根市）

〈発表者〉 介護福祉士 春田 和昭

【はじめに】

当施設では、集団レクリエーションを実施しているが、認知症のレベルや、身体の状態に応じたレクリエーションが出来ておらず、レクリエーション自体がマンネリ化している現状であった。また、入所者様との何気ない会話の中で、「ここに（施設）入ったから、皆に合わせないといけない。ここでは、何もできない…」等の声が聞かれ、入所者様は日々同じ生活を送り、苑生活での楽しみが無いのではと、職員の間で考えるきっかけとなった。

そこで、集団レクリエーションの実施内容の一部を、入所者様主体で「する」活動へ移行する事で、活動意欲やQOLの向上に繋げる事が出来、また入所する以前に行っていた、趣味や嗜好を継続し行える事で、入所者様が楽しみや、苑

での自分自身の役割や居場所を見出せることが出来るのではないかと思います。活動に取り組んだ内容と経過について報告する。

【対象・方法・活動内容】

対象：当施設全入所者様
（定員84名）

方法…

①全入所者様の、生活歴、趣味、嗜好の一覧表作成。

②全入所者様と、職員（介護職、看護職）を「A、B、C、D」の4チームに振り分ける。

③現在の問題点と、取り組み内容を資料にまとめ、5日間毎朝申し送り時に説明を行う。

④各チームで活動計画立案。活動計画立案後より、業務改善を行いながら、活動開始。

活動内容…

Aチーム：野菜作り

【経過】

「活動開始初期（3ヶ月）」

入所者様より、「いつ」「どのよう」な活動が出来るのか、把握できない。他の活動にも参加したいが、制限される。との声あり。また、活動参加を促すと、「行かん。出来

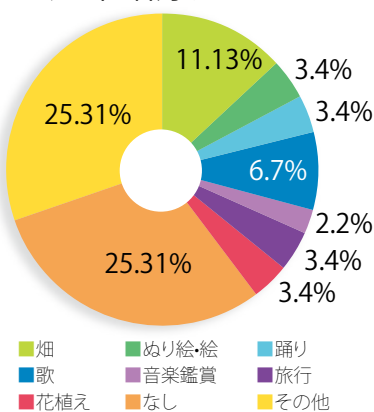
Bチーム…米作り
Cチーム…野菜作り・楽器作成
Dチーム…和紙・年賀状作り

ないから。」といった消極的な入所者もおられる状況であった。
職員側からは、業務に支障をきたす恐れがあるとの事で、個々のモチベーションも低く、活動自体に積極的な様子ではなかった。

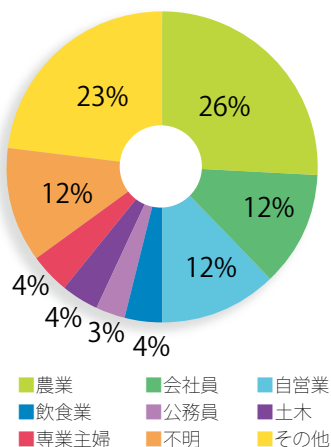
「活動開始中期以降（3ヶ月）」

活動を継続していく中で、入所者様、職員に変化が現れ、活動内容によっては天候に左右される活

趣味・嗜好グラフ



職業歴グラフ





動もあつたが、入所者様より「また行きたい。」「もう少ししたい。」と言った意欲的な意見が聞かれ、入所者様同士の会話の中でも、活動で行った事の話題を会話されている方もおられました。

職員の変化としては、業務中心の考えが大きかったように思うが、入所者様との活動を通し、自ら入所者様と一緒に活動に参加される姿や、時間が出来れば積極的に畑に連れ出す姿も見受けられるようになった。

【結果】

活動を継続する事で、日頃自ら発言しない入所者様からも、「もつとこげんせんいかん。」「こうしたら良い。」といった、職員への教えの声があつた。入所者様同士、又は職員との関わりの中でも、農業等の過去の生活歴についての話しや、「今度は違うのが作りたいね。」といった、内容の会話が入所者様より聞かれるようになった。また、職員も入所者様と一緒に活動を行なう事で、入所者様のこれまでの生活では見ることが出来なかった、新たな一面に気付く事が出来た。他にも、新型コロナウイルス感染

防止に伴い、面会制限を実施していたが、ご家族へ活動の様子や風景を写真で伝える事で、「昔は農家だったので、よくしていたんです。」「作る事が好きだったんです。」「ありがとうございます。」等、ご家族も嬉しそうにしている様子を伺う事が出来た。

【考察】

今回の活動を通し、入所者様が「施設では何もできない。」「というレッテルに囚われるのでは無く、「やってみよう」という意欲を引き出す事が出来た事で、入所者様の新たな姿が見受けられる様になったと思われる。また、ご家族様とも信頼関係を築く良い機会になり、新型コロナウイルス関連で当苑では面会制限を実施しているが、ご家族様にも安心感を持たせる事が出来たのではないかとと思われる。

これからも、入所者様の身近な声に対し、「施設だから…」と決め付けるのではなく、入所者様が苑生活の中で、役割が見出せるよう努めて行きたい。

令和4年度 研修会

第2回看護・介護部会

日 時：令和4年10月21日（金） 14：00～16：00（質疑応答時間含む）

会 場：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoom同時配信等によるハイブリッド方式

参加者：77名（会場4名、Zoom73名）

テーマ

「魅力学」～人に好かれる「人」になる～介護施設・高齢者へ向けて

講 師：株式会社清友 代表取締役 宮之原 明子 先生

【アンケート結果】

1. 評価

非常に良かった 8 よかった 2

2. 理解

よく理解できた 9 どちらかといえば理解できた 1

3. 今後、改善したほうが良いと思う項目

YouTube

4. 改善してほしい理由

- ・機械の不都合で最初から受講できなかったのが残念でした。見逃し配信をしていただきたいです。
- ・お昼から夕方ぐらいにしたらどうなのかと思いました。参加者が増えたほうが良いなと思いました。

5. 次回はどのような研修を希望しますか？

- ・介護施設等で、高齢者、特に認知症の方の対応について
- ・感染対策、ACP、働き方改革など
- ・接遇に対しては大事なことで、ぜひまた取り上げてほしいです。

6. 本日の講師や、研修の内容について、感想をお聞かせください。

- ・職場内で、研修内容を発信し気持ちの良い職場づくりを行っていきます。ありがとうございます。
- ・当施設においても「日々そうなってほしい」と願う内容で、首を振りながら視聴させていただきました。挨拶一つにおいても、先ず「相手に顔を向けて」出来ることがコミュニケーションの第一歩で大切なことと痛感しました。

常に課題が「人間関係の構築」そのものです。私達は、日々認知症や介護量の多い方のお世話をさせていただいていますが、「仕事がきつい大変」と言ことではなく、「チームワークが良好で仕事場が明るい」とあれば大変さは一時的で、共有でき、楽しく仕事ができると思います。本日の研修を生かすべく、他の職員へどのように周知してもらうのか、その手段を思いながら臨んだと思います。講師の研修内容は大変わかりやすく、あっという間の2時間でした。ありがとうございました。

・第一印象に関して利用者との関わりを職員全体に波及できるような取り組みができればよいかなと思いました。

・顧客満足度、お客様の行動なども施設にてケアを行う中で、注意を払う場面が多くあり、自身も気をつけて取り組みたいと思います。

・プラス思考、プラスの表現、プラスの言葉、人に好かれる「人」になる言葉の使い方を意識していこうと思いました。

・信頼関係がとても重要になる職種なので現場で活かせる講義を受けることができてよかった。

・講師の方の話し方がとても分かりやすく、人に好かれる「人」になるキーポイントを学ぶことができました。ありがとうございました。

・本日は貴重な研修を受けさせていただきありがとうございました。

・研修を受けた時は気をつけよう意識しているのですが、日常業務に追われていつのまにか忘れて自分に気が付きます。常に魅力のある施設と自分でいられるように、努めていきたいと思います。

・笑顔で元気よく挨拶するだけではなく、相手を思いやる気遣いの心をもって接することで、互いに仕事のしやすさがうまれたり、これによる相乗効果でご入所されている方やそのご家族にも施設の良い印象を持っていただけると研修を通して改めて感じることができました。

当たり前のマナーではありますが、仕事の忙しい、を言い訳にせず取り組んでいきたいと思います。

・人材には3パターンある、などが印象に残りました。自分も色々考えさせられました。今後もよろしく願います。

・すごく勉強になり、改めて自分にかけている部分があるのが分かった。今日学んだことを早速明日から実践していきたい。鏡の前で「ウイスキー」と笑顔を10回出来るかわかりませんが5回ずつでもしていきたい。また、プラスの言葉も「for you」という気持ちも持って活用していきたい。

以上

接遇に関して学びある時間でした。介護の現場は毎日、利用者や家族、職員と、多くの方と接しています。どの場面であっても相手に与える印象を考え、思いやりを持って接していくことが大事であることを再認識しました。また宮之原先生に過去と他人は変えられない、でも未来と自分はこの瞬間から変えられるというお言葉もいただき、まず自分から、と今少しずつ取り組んでいるところです。

研修内容を多くの職員に伝え、プラスの言葉が飛び交い、みんなが笑顔の職場にしていきたいです。アンケートのご協力をいただきありがとうございました。

介護老人保健施設ひまわり 看護師 甲田美保子



ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.10

東川隆太郎

NPO法人まちづくり地域フォーラム・
かごしま探検の会代表理事



桜島



鍋山

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

桜島の噴火史を 深掘りしてみる

鹿児島のシンボルといえば桜島。現在も噴火を繰り返す活火山でありながら、約5000人の人々が暮らしている。誕生は約2万6000年前とされ、その後、溶岩流出や大規模な火砕流を発生させる噴火は17回確認されている。今も桜島の至る場所に大規模な噴火の履歴が伝わり、今後の活動予測や研究に活用されている。

17回の噴火の中で史料で確認できるのは4回で、そのうち最も古いのが天平宝字8(764)年12月の噴火、その際誕生したのが鍋山である。鍋山は桜島の東側に位置する高さが約360メートルの山で、垂水市牛根方面から望むと火口がはっきり確認できる。噴火によって噴出した軽石などが堆積して形成された山で、近くで眺めると迫力がある。

次の噴火が文明年間(1469年〜1487年)の数回に渡る噴火で、時代は室町期。桜島の北東と南西方向に溶岩が流出し、野尻港と持木港の間にある燃崎がそれにあたる。野尻集落に安置されている姫宮神社のすぐ横でも溶岩流が確認できるが、この神社があったおかげで溶岩が集落を避け、埋没を免れたとの伝説がある。ちなみに姫宮神社の御祭神は、



野尻港



湯之港



姫宮神社



文明溶岩



久米村長頌徳碑



有村墓地の退避壕



新島

現在の指宿市にある枚聞神社に関連した姫とされ、桜島には最初に湯之港に到着したとされている。

その次は江戸中期の安永8(1779)年の噴火で、この噴火で桜島の北側に島が誕生した。8つの島が約半年かけて海底から登場したが、そのいくつかは失われたり、ふたつの島がつながったりして、現在は四つの島が確認できる。そのなかでも最大の島が新島で、現在は居住されている方もいる。

最後が大正3(1914)年1月12日の噴火。当時桜島に約2万人の人々が暮らしていたが、噴火の影響で多くの住民が移住を余儀なくされる事態となり人口が半分になった災害であった。そんな桜島の復興に尽力した人物のひとりが西桜島の久米芳季村長で、農産物の販路拡大や桜島フェリー就航に尽力した。顕彰する記念碑が桜島港にある。

火山と向き合ってきた人々の気持ちによりそえる場所が桜島にはたくさんある。



(ひがしかわ・りゅうたろう) 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を行っている。

こぼれおちた

ものもの

34

三角 みづ紀



成田発、仁川空港行きの飛行機はほぼ満席で、隣に座る姉は眠っている。そういえば去年の秋は、ふたりに京都旅行をしていた。今年は韓国へ。コロナ禍のあいだに、韓国の音楽にすっかり夢中になったわたしたちは、釜山で開催されるコンサートを目指していた。

十年くらい前に済州島へ訪れたことがあるが、ソウルと釜山は、はじめてだ。わずか三時間弱で海外へ到着する。ふしぎな心地になる。

仁川空港で友達と合流して、高速鉄道で釜山へ向かった。移動のみで一日を費やし、ホテルにチェックインしたときには深夜だった。疲労で熟睡できると思いきや、妙に興奮して二時間しか眠れず、早朝の地下鉄に揺られて釜山港へ行く。

日本ではない国で、ましてや知らない町の公共交通機関は緊張する。でも、この旅ではほとんど緊張しなかった。中学生のころに友達からハ

仮面をつけかえつつ



ングルを教えてもらって、いまだに読めるのも理由のひとつだとは思えど、わたしたちには明確な目的があったのだ。ラスベガスでのコンサートで知り

合った友人と合流して、販売されているグッズや、スポンサーブースと呼ばれる無料のグッズを入手したくて、コンビニエンスストアでバナ

ナ牛乳やお菓子を買って求めて、列に並ぶ。

帰国して振りかえれば、行ってみたいところはたくさんあった。行きそびれたところのほうが多い。しかし、この韓国旅行はBTSのコンサートのためだった。

好きという感情で他者とながるのは、本当におもしろい。まったく違う人生を歩んでいて、見知らぬ者同士だったのに、好きな対象が同じだけで関係性が加速するのだ。

韓国の音楽ばかりでなく映画やドラマも好きで、ひとりでタクシーに乗っていたら、運転手さんが韓国語で話しかけてきてくれた。文法はわからなくても単語がすつとはいってきて、断片だけでおしゃべりをする。ネ、イルボン。ヨギ？カムサヘヨ。

釜山に二泊、ソウルに二泊したわたしたちは、ずつと駆け抜けていた。好きという感情が先行して走り続けて、くたくたになっていた。名物料理もあまり食べていない。

しかれども、深夜に友達とソウルの町を散策した時間は忘れられない。コンビニエンスストアを何軒もめぐり、アイドルのカードを探していたあのひととき。

写真を見返していたら、釜山の風景もソウルの風景もあんまり写っていないかった。めまぐるしい

日々は、いつか記憶よりこぼれおちるだろうか。目的を達成する旅。あてのない緩やかな旅。どちらも楽しくて、貴重なものだ。今回は前者で、笑いがたえず、あわただしかった。

「はしるように」

あてどない道でもまっすぐな道でも選択したからにはわたしたちが走る難しい話もしようどの道を選んでも物語がしみわたる

おそろく年明けに、再び韓国を訪れる。そこでは詩人として振る舞い、詩人として風景を見るだろう。ひとの立ち振る舞いつて奇妙だ。そうあるとしたら、そうなるのだ。笑顔で過ごしていたら、いつのまにか内面も笑っていたりする。見える景色もちがうのだろう。いくつかの仮面をつけかえつつ、もつとハングルを覚えたいと奮闘中だ。

三角みづ紀（みすみ・みづき） 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回（平成26年度）萩原明太郎賞受賞。



イッシーの背中？ 波打つ屋根を持ついけだ湖パックスの建物



イッシーのかわいいオブジェ



近くにある「黄金の鳥居」の参道にある水を噴く竜の木像



開聞岳を望めるデッキから雄大な湖の風景を満喫できる



湖に面したガラス張りのカフェ

「いけだ湖パックス」(指宿市池田)

をかねた外観の建物には、鹿児島市で人気ベーカーリー・ダンケンが運営するカフェが入る。貸し出しスペースもあり、観光客向けの体験プログラムなどに活用していくという。

湖に面したガラス張りのカフェではコーヒーやクロワッサン、トースト、スイーツが味わえる。オープンテラスでは魅惑的な池田湖や開聞岳を眺められる。

訪れた日は平日にもかかわらず、多くのカップルやグループでにぎわっていた。観光客に混ざり、地元の人らしき女性たちや家族連れがおしゃべりを楽しみくつろぐ姿も見られた。

広々とした水上デッキに立つと神秘的な湖に手が届きそう。九州最大の湖である池田湖は、国立公園に指定されており、新施設はゆつたりと時間を過ごせる場所として、池田湖の魅力発信の核になりそうだ。

パックス(ラテン語)はローマ神話に登場する平和と秩序の女神で、荘厳な湖のたたずまいに重ねたネーミング。響きが英語のパーク(公園)を連想させるため名付けられた。おちゃめでかわいいイッシー像が出迎えてくれる。

午前9時〜午後6時。
年中無休。

(編集委員 米森)

周遊観光の新たな拠点に

幻の巨大生物「イッシー」で知られる指宿市の池田湖畔に昨秋、新しい観光スポット「いけだ湖パックス」がオープンした。滞在・周遊型観光の拠点として、鹿児島県と市が整備した。敷地面積は8256平方メートル。親水公園やイベント広場があり、巨大イッシーの背を連想させる波打った屋根

ルやグループでにぎわっていた。観光客に混ざり、地元の人らしき女性たちや家族連れがおしゃべりを楽しみくつろぐ姿も見られた。

広々とした水上デッキに立つと神秘的な湖に手が届きそう。九州最大の湖である池田湖は、国立公園に指定されており、新施設はゆつたりと時間を

ふろしゅーフォーカス

ろうけん広場

「昭和は新しいー」

今、「昭和」がブームという。令和、平成を飛び越えて、昭和を感じさせる風景を街角などで拾い上げてみました。



地図

かつては街角でよく見かけた地図。今でも現役だったとは。鹿児島市の天保山中学校の金網フェンスに取り付けてあるのを見つけました。



名山堀

懐かしい下町の雰囲気がある鹿児島市の名山堀。若者の経営する飲食店が増えています。ランチの行列ができる店も。



プリントグラス

注目はクリームソーダではなく、レトロな花柄のグラス。昭和の食卓を彩ったプリントグラス。若い女性たちに人気です。

レコードに再び注目集まる。鹿児島市アミユの中古レコード店には、80年代のポップスを求めてやってくる若者が多いそうです。



レコード



回る菓子

山形屋の地下食品売り場で回っているお菓子の“メリーゴーランド”。お宝を選んでいるのは子どもより大人でした。



千葉しのぶさん

冬編

かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。
「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。
2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



エビの雑煮

元旦の食卓といえば「雑煮」。各地各家にそれぞれの雑煮があります。中でも、これぞ鹿児島県の雑煮という「エビの雑煮」。クマエビを使うと大変豪華で風格があります。クマエビは出水市などに面する八代海で「けた打瀬漁」という独特の方法で捕られます。正月が近づくと、10尾ずつわらで編んだものが海産物店の店頭に吊り下げられ、年末の風物詩にもなっています。また、手に入りやすい小さめの干しエビでも良いダシをとることができます。

レシピ

4人分

- 干えび 4尾
- 干椎茸 4枚
- 水 1ℓ
- かつお節 10ℓ
- 薄口醤油 大さじ2
- 地酒(または料理酒) 大さじ1
- 人参(花形) 4枚
- 豆もやし 100ℓ
- かまぼこ 4枚
- 餅 4個
- みつば 4枚
- ゆずの皮 少々

- ① 干えびと干椎茸を1ℓの水で戻し、火にかけ、干椎茸が煮えたら汁と具に分ける。人参は花形に切り茹でる。
- ② ①の汁に水を足して1ℓにして火にかけ、沸騰したらかつお節を入れ、再び沸騰したら火を止め、2〜3分後こす。
- ③ ②に薄口醤油と地酒で調味し、干えび、椎茸を戻し入れ、しばらく煮た後に豆もやしを加えて、火を通す。かまぼこも飾り切りして軽く煮る。
- ④ 椀に豆もやし、焼いた餅、椎茸、人参、干えび、かまぼこを盛り、汁を注ぎ、みつばとゆずの皮を添える。



大豆から作られる豆もやしには「まめまめしく働けるように」との願いが込められています。かまぼこや人参も飾り切りを施し、色よく仕上げます。

ぶり大根

寒さが厳しいこの時期、おいしくなる食材の代表が「ぶり」と「大根」です。各地でその土地のぶりと大根で「ぶり大根」が作られています。鹿児島県のぶりは1958年に試験養殖が始まってから県内各地に広がり、現在、全国シェア日本で第一位となっています。そして鹿児島の大根といえば桜島大根。甘みに富んでみずみずしく煮こんでも形くずれしにくい特徴があります。桜島大根のきめ細やかな肉質に、ぶりの旨みがしみ込み絶品です。

レシピ

4人分

- ぶり切り身 50ℓ×4切れ
- ぶりアラ 200〜300ℓ
- 大根(できれば桜島大根) 500ℓ
- 生姜 20ℓ
- 料理酒 1/2カップ
- 調味料 (本みりん 大さじ4、濃口醤油 大さじ2、薄口醤油 大さじ2)

- ① ぶりアラは熱湯をかけ、水で洗う。大根は皮をむき、2ℓ厚さの半月切り。生姜は皮付きのまま薄切り。
- ② 鍋に大根をしき、上にぶりの切り身とアラ、生姜をのせ、料理酒を加える。さらに大根が浸る程度(2カップ)の水を加え火にかける。
- ③ 沸騰後は弱火で20分ほど煮て、大根が柔らかくなったら、調味料を加える。さらに20分ほど弱火で時々煮汁を回しかけながら煮含める。
- ④ いったん火からおろし、味をなじませ、食べる直前に再加熱すると味が染みる。



大根が軟らかく煮えてから調味料を加え、弱火にして時々煮汁を回しかけながら煮含めましょう。

介護用品 あれこれ

推奨福祉用具のご紹介

～ヒーリングパートナー「夢の子 ユメル・ネルル」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

はじめに

前回は「できる」を増やせる前腕支持型リトルターンZシリーズのご紹介をさせていただきましたが、今回はぐっと指向を変えて、6年ぶりにリニューアルしましたタカラトミーアーツのヒーリングパートナー「ユメル・ネルル」のご紹介をさせていただきます。

▼ユメル



▼ネルル



6つのユメル・ネルルの機能

- ①3000通り以上の言葉を季節や時間に合わせてたくさん話してくれます。
- ②懐かしの童謡唱歌を50曲の中から歌ってくれます。
- ③事前に設定した時間で一緒に起床・就寝してくれます。
- ④11個のあなたの言葉を理解してお返事してくれます。
- ⑤10個の家族名称からあなたの呼び方を選ぶことができます。
- ⑥外出中や電話中など、静かにして欲しい時の「お留守番モード」や「おでかけモード」

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん始良

〒899-5652 始良市平松5062
☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん始良
訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘

〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲



⑨アメニティ国分

〒899-4301 霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鶴木医院(指定介護療養型医療施設)
うのきデイサービス(認知症専用)
ヘルパーステーションアメニティ国分

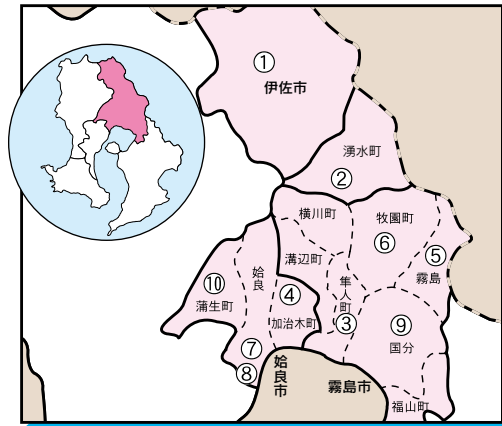


⑩ろうけん大楠

〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼ」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと

〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園(特別養護老人ホーム)
グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑

〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

あいらの森ホスピタル
グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
グループホーム愛の里



③希望の里

〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木

〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
龍門の里(軽費老人ホームA型)



⑤きりしま

〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ

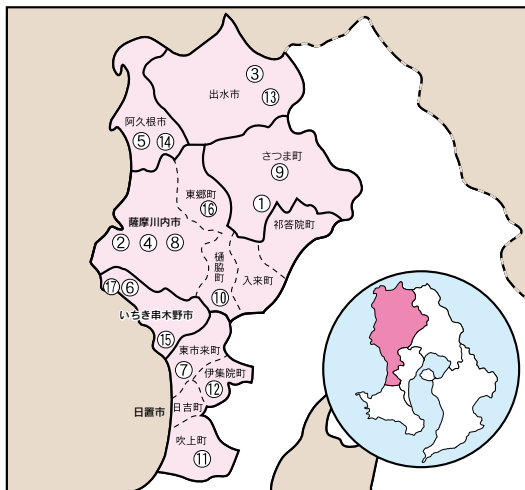


⑥サンライトホーム

〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園(身体障害者療護施設)
霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ

〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオラU
グループホームアリエ



②あじさい苑

〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ
〒899-0214 出水市五万石町281
☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック
ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵8920番地
☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)
グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健
〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
ケアハウス出合い坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出合い坂



②スイートケアなかよし
〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
〒899-0217 出水市平和町336-1
☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター
〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家



⑤回生苑
〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑
〒896-0002 いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

前原総合医療病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノはたるの里
〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所 パラディーノはたるの里



⑩グラン・ベリテわき
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

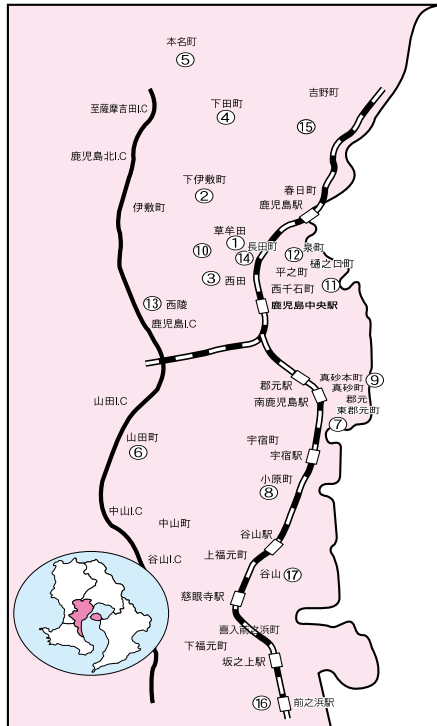
市比野記念病院
翠泉苑(特別養護老人ホーム)
指月苑(養護老人ホーム)



⑪湯の浦ナーシングホーム
〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
居宅介護支援事業所
(湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

吉田温泉病院居宅介護支援事業所
ヘルパーステーション ゆうばえ
訪問介護ステーション 夕映え



⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)



⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)



⑬ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑



⑮ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

明輝会クリニック
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



⑦おさしお

〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501

グループホームきらら
長崎内科
陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン

〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802

平和台病院
介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑

〒891-2124 垂水市錦江町1-140
☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280

垂水市立医療センター、垂水中央病院
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ

〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105

肝属郡医師会立病院
居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた

〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201

はるびゅうクリニック
訪問看護ステーションふるる
居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑

〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
☎099-477-2331 FAX 099-477-2335

曾於医師会立訪問看護ステーション
曾於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆

〒891-2104 垂水市田神3536番地1
☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163

池田温泉クリニック
グループホームひまわり苑
小規模多機能ホームひまわりの里

南 薩 地 区



①指宿温泉菜の花苑

〒891-0402 指宿市十町418-1
☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239

今林整形外科病院
明正会介護支援ネットワーク菜の花
(居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム

〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530

高原病院
末吉町在宅介護支援センター
末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり

〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727

池田病院
鹿屋長寿園(特別養護老人ホーム)
デイサービスセンター鹿屋長寿園



③ケアセンターやごろう苑

〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964

昭南病院
大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑

〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160

春陽会中央病院
高山町在宅介護支援センター
訪問看護ステーションたんぼぼ



⑤ヴィラかのや

〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226

恒心会おぐら病院
居宅介護支援事業所ヴィラかのや
訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
☎099-472-5666 FAX 099-473-3494

病院芳春苑(精神科)
ケアハウスぬくもり
グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑

〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑

〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院



③虹の丘

〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑

〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック



⑤せとうち

〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー

〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷

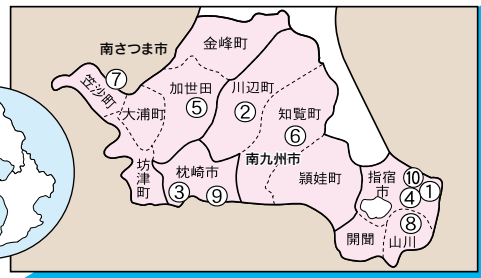
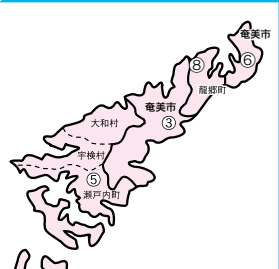
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園

〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑

〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神

〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園

〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井

〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん

〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック



⑦さつま野菊園

〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風

〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター

〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会

時の累積、色彩と共に～新しい年へ

祝 迫 正 豊

新しい年が始まった。年始を新鮮な気持ちでスタートしたいと今年も近くの神社に参拝。一年が過ぎるのは早い。今年も大小の目標を達成しながら区切りのある良い一年としたい。日々、現実と向き合うだけの怠け者がここにいるから…前向きでいたい。

新年早々、鹿児島市内の老舗画廊で3年ぶりの個展。3年に1度の節目、区切りとしたいと決めた。この画廊は33年前に画廊勤務のT氏と縁があって1回目の個展を開いた。今回で8回目となる。T氏との縁、援（応援）があって開催できた。個展は近作35点を並べた。

高校生のときから油彩画に興味を持った。上手になりたい、頭に湧いてくるものを描きたい、と思い続け半世紀になる。30歳半ばで留学の機会を得た。パリの街を散策し、その色彩が「ショーウインドー」シリーズになった。2001年のアメリカ同時多発テロや2011年の東日本大震災の信じがたい現実が、「風の中の守護神」シリーズにつながった。

少年時代に接してきた自然、大地を回想しなからの絵が「大地回想」シリーズ。「幕末SATUMA」シリーズは新聞連載小説「幕末に生きる。女傑、松寿院」の挿絵が発酵して出来上がった。今、人類は予想もしない事象に面くらしい、迷いながらも生きている。コロナ感染はその一つだ。3年前から「時の狩人」シリーズが始まった。時間を切り取って描いてみたいと思った。

今回の個展をひと区切りとし、時を重ねていこうと思う。

1月号表紙絵は、穏やかな日の出。小品である。桜島や錦江湾が温かい色彩に染まっている。新しい一日の始まりである。

これからの世の中が平和な日々でありますように。



表紙絵「年の始まり、朝」
F3号



●作家略歴：祝迫 正豊（いわいざこ まさとよ）

- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
- 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞（最高賞）
- 1992年 第77回二科展「二科賞」（最高賞）、他に会友賞、会員賞
- 1993年 文化庁現代美術展選抜展（全国巡回）
- 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2013年 日本・スペイン交流400周年記念展招待（マドリッド市）
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、志学館中等高等部非常勤講師、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇全国介護老人保健施設大会が昨秋、神戸市で開催されました。参加人員規模は2500人に絞ったそうですが、それでも講演や施設発表の会場は2日間で計30カ所。目的の場所に行き着くのも全国規模だけに一苦労。それでも各会場でコロナ禍を乗り越え、老健の未来を熱く語る参加者の姿に胸が熱くなりました。

◇「ろうけん広場」の今回のテーマは昭和。昭和が終わり三十数年が過ぎました。昭和の名残を探しに町を歩きました。ただ、あまりすぎて気がつかないのか、変化しすぎて分からないのか。少し難しかったです。

◇高校時代の友人をフェイスブックで見つけて、40年ぶりに会うことになりました。お互いすぐ分かるだろう。ドキドキしながら出かけました。風ぼうは少し変わっていましたが、話をするとなりに昔に「朋あり遠方より来たる、また楽しからずや」

（米）

編集委員

米森 俊一（県老人保健施設協会理事）
加治屋 洋（さるびあ苑）
谷山 尚（さくらんぼ）

ろうけん鹿児島

（令和5年冬号）

令和5年1月1日発行

通巻110号 無料

編集人 米森 俊一

発行人 今村 英仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2
発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会



〒800-0053 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F
電話099(900)1047 FAX099(900)1049
E-mail:k-token@pc.minc.ne.jp
Website:https://kagoshima-token.or.jp/

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。

見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。

相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



高齢者虐待についてのご相談は、お住まいの市町村
又は地域包括支援センターへご相談ください。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、
県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

認知症に関する相談

〔公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部〕

(相談日／月～金 10:00～16:00) ※祝日は除きます

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010(若年性認知症相談窓口)

〔若年性認知症コールセンター〕

(相談日／月～土 10:00～15:00)

TEL.0800-100-2707